

平成29年度 事務事業評価シート(実施計画事業 **経常事業**)

事業の概要	事務事業名	自転車等駐車場管理事業				担当部	都市建設部				
	会計区分	一般会計				担当課	都市政策課				
	事業期間	平成26年度以前		～	平成30年度まで		担当係	交通政策係			
	基本施策・展開方向	6 都市基盤		22 都市交通		1 より効果的・効率的な公共交通ネットワークを形成します					
	予算区分	款	2	項	8	目	3	大	4	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市自転車等の放置の防止等に関する条例、小牧市自転車等の放置の防止等に関する条例施行規則									
	目的	何・誰を対象に	市内自転車等駐車場の利用者を対象								
		どの様な状態にするのか	自転車等駐車場を利用しやすいように管理する。								
	内容(手段)目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆平成28年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 各自転車等駐車場整理等委託 自転車等駐車場を利用しやすくするため、整理、清掃、放置自転車撤去等を委託したもの。 対象:市内自転車等駐輪場11箇所 委託者:小牧市シルバー人材センター 放置自転車撤去台数:525台 防犯カメラ保守管理業務委託 自転車駐車場の治安確保のため、防犯カメラが正常に動作するよう保守管理を委託したもの。 対象:市内自転車等駐車場8箇所 委託者:教育産業株式会社 <p>◆平成28年度直接経費の内訳(支出ベース)</p> <ul style="list-style-type: none"> 消耗品費・・・149,652円 印刷製本費・・・49,680円 光熱水費・・・646,819円 修繕費・・・216,378円 手数料・・・73,720円 委託料・・・13,591,707円(自転車等駐車場管理委託料12,770,812円、自転車等駐車場設備保守管理委託料820,895円) 使用料及び賃借料・・・1,274,973円 <p>◆平成29年度直接経費の内訳(予算ベース)</p> <ul style="list-style-type: none"> 消耗品費・・・150,000円 印刷製本費・・・50,000円 光熱水費・・・879,000円 修繕費・・・1,092,000円 手数料・・・125,000円 委託料・・・14,249,000円(自転車等駐車場管理委託料13,422,000円、自転車等駐車場設備保守管理委託料827,000円) 使用料及び賃借料・・・1,287,000円 									
	受益者負担	無									

		単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	18,224	16,254	16,003	17,832	
		正職員	従事者数	人	0.06	0.10	0.08	0.08
			人件費	千円	337	562	450	450
		その他職員	従事者数	人	0.10	0.20	0.30	0.30
			人件費	千円	163	312	478	568
	費用合計	千円	18,724	17,128	16,931	18,850		
対前年比	%		91.4	98.8	111.3			
財源	一般財源	千円	18,724	17,128	16,931	18,850		
	国・県支出金	千円						
	その他財源	千円						

業	活動指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	績	放置自転車撤去台数	台	目標	—	—	—
実績				810	527	525	
			目標				
			実績				
成果指標名	単位			H26	H27	H28	H29
駐輪場の不足台数	台	目標		0	0	0	0
		実績		129	152	0	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成28年度の実施結果	事業の達成状況	各自転車等駐車場整理等委託などは、年間を通して委託しており、特に放置自転車撤去台数は525台であった。				
		事業実施における課題	平成28年度に間内駅自転車等駐車場を増設したことにより、駐輪場の不足台数は解消されたが、平成29年度に入り、特に小牧口駅、味岡駅において自転車等駐車場の利用者が増加しており、時期によって自転車等駐車場が不足している状況が見受けられるため、小牧口駅では、名古屋鉄道と協議して既設の臨時自転車等駐車場の利便性の向上を図る整備を行ったところであり、味岡駅においても、今後放置自転車の撤去回数の増加や整備を検討する必要がある。				
	平成29年度の実施内容	29年度における実施内容や結果見込み	各自転車等駐車場の整理業務や、維持管理にかかる保守点検業務は引き続き必要である。				
	平成30年度の事業の方向性	方向性の判定	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの			
		削減額・削減対象	事務事業評価による額	456	千円	予算区分	11
	判定理由・削減内容	これまでの取組みの結果、事業費を削減しても適切な管理を行うことができると見込める。そのため、これまでの実績を踏まえて事業内容を精査し、11節修繕費から456千円を削減する。					
	30年度以降の実施内容	各自転車等駐車場の整理業務や、維持管理にかかる保守点検業務は引き続き実施していく。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	一次評価のとおり。 平成30年度以降の事業費(一般財源)は、原則的に、平成29年度当初予算の金額から本年度の事務事業評価による額を控除した金額を上限とするとともに、引き続き、効果的・効率的な事業実施に努められたい。